

平成28年度実施の認証評価結果における大学等の優れた取組について

公益財団法人 日本高等教育評価機構

1. 大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-1. 使命・目的及び教育目的の明確性	畿央大学	命の尊さや生命倫理を深く理解させるために、「生命倫理」を全学生の必修科目とし、生命の尊さを教育していることは評価できる。
	1-2. 使命・目的及び教育目的の適切性	長岡大学	国の支援事業として採択された人材養成プログラムを深化させながら、学部学科の改編を行い、時代の変化や地域社会のニーズに適合させる形で継続的に対応していることは高く評価できる。
	1-3. 使命・目的及び教育目的の有効性	愛知東邦大学	「第2期中期経営計画」で大学を取巻く現状を分析し、大学教育のあり方と地域に貢献する姿勢を明確にまとめ、使命・目的及び教育目的を個別の施策に反映し、具体的な成果目標を掲げて取組んでいる点は評価できる。
		旭川大学	地域研究の可能性を探究する「旭川大学地域研究所」は、建学の理念を具現化しており評価できる。
		宇部フロンティア大学	単年度事業計画の達成度について、4段階評価により「見える化」していることは高く評価できる。
		静岡福祉大学	平成16(2004)年の開学以来、大学はその使命・目的にふさわしい「地域をキャンパスに」を理念に掲げ、「高校生福祉スピーチコンテスト」など、地域に密着したさまざまな社会貢献活動を積極的に行い、地元静岡県焼津市を中心とした地域創生の力として貢献している点は高く評価できる。
		千葉経済大学	建学の精神「片手に論語 片手に算盤」を形象化したシンボルタワーをはじめ、正門や正門前広場のデザイン等にも大学の個性と特色が形象化されている点は評価できる。
東海学園大学	学内では、教職員・学生に対し、仏教精神に基づく建学の精神を反映する各種の体験的な研修を通し、大学の使命・目的及び教育目的を理解させる努力を重ねており、「共生文化研究所」の設置など、学外への周知にも積極的に努めている点は高く評価できる。		
基準 2. 学修と教授	2-1. 学生の受入れ	青森中央学院大学	入学前学習プログラムにおいて、入学予定者へ新聞記事を題材としたレポート課題、専門科目を学ぶために必要な基本的な知識を問う大学独自に作成した問題を与え、回答のフィードバックを行い、入学後のリメディアル教育につなげている点は評価できる。
		関西医療大学	独自の入試情報誌である「Style K News Letter」を発行し、大学入試に関連した情報や入試実施状況、特に医療系大学の入試動向や教育行政の動向など幅広く受験生、高校生、高校教員や保護者に情報発信していることは高く評価できる。
	2-2. 教育課程及び教授方法	愛知工科大学	専門教養科目においては、意欲と基礎学力を指標にクラス編成を行う「雁行型教育」を取入れ、同程度の意欲や学力レベルを持つ学生が助け合いながら学力を向上させるという特色ある教育を展開していることは高く評価できる。
		純真学園大学	共通教育科目に「純真学」を6科目編成の科目群として新設し、合同授業として、特色ある全学的な教育の取組みをしていることは高く評価できる。
		杉野服飾大学	実習では教員の製作に伴う説明とともに、大学独自で開発した「製作のための電子教材」の活用をしながら授業を進めていることは、評価できる。
		鈴鹿大学	「オーラルコミュニケーション」を週5日開講し、外国人留学生との混合授業等で英語コミュニケーション能力の向上を図っており、英語教育と海外プログラムを有機的につなぐ一貫した取組みで大学の「国際性」の維持に努めている点は高く評価できる。
		摂南大学	「Project-Based Learning(PBL)」は、教育理念である「自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成」を実践する機会を提供し、多くの学生が主体的学修者として成長できる教育プログラムとして機能している点が高く評価できる。
		千歳科学技術大学	大学で開発したeラーニング教材を基礎教科から専門教科にわたって活用した教育を行っていることは評価できる。
		桐朋学園大学	開学当初から重点を置いているソルフェージュ教育の取組みは、豊富な能力別クラスと指導体制が整い、テキストを学修者のレベルに合わせて作成するなど、他大学の模範となる教育プログラムの実践として高く評価できる。
		徳山大学	「地域志向科目群」の導入により「地域ゼミ」等の地域を意識した特色ある授業科目が教育課程に編成されていることは評価できる。
		長岡大学	「学生による地域活性化プログラム成果発表会」は数年来、テレビや地元紙等から一定の評価を得ている。こうした社会的評価を伴う同発表会が地域における大学の存在感や知名度を高めていることは高く評価できる。
		名古屋学芸大学	管理栄養学科では、医療に強い管理栄養士の育成プログラムが設定されており、「国際栄養学演習」において、海外で現地の管理栄養士との違いを学べる点は評価できる。
		びわこ成蹊スポーツ大学	豊かな自然を生かした「フレッシュマンキャンプ」「水辺実習」及び他県で実施している「雪上実習」を「野外3大実習」と位置付けて、学内の全教員参加のもとに実施し、大学の教育内容の理解、人格形成及び学生間の交流を図っている点は高く評価できる。
		北海道情報大学	教育課程の体系的な編成、その内容・科目の適切性を図るために「カリキュラム・アドバイザーボード会議」を実施し、高い見識と経験を持つ学外の有識者であるアドバイザーからの助言のもとにカリキュラムの検証・改正を実施していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学修と教授	2-2. 教育課程及び教授方法	ものづくり大学	実習授業において、安全教育徹底のため安全週間を設け、「KY(危険予知)活動」の実施及び「安全手帳」の携行など、安全教育の充実を図っている点は評価できる。
		青森中央学院大学	留学生支援として、日本人学生の1年生がサポーター、2年生以降はチューターとなり留学生への学修や日本文化の理解への支援を行っており、その結果、日本人学生側においても海外への関心が高まるといった効果が見られ、評価できる。
	2-3. 学修及び授業の支援	大阪経済法科大学	発達障害、精神障害などを抱える学生の学修支援を、大学全体で積極的に取り組んでいる点は評価できる。
		大阪工業大学	学生の基礎学力向上を目的とした「教育センター」は、「教育センターニュース」の発行などきめ細かな学修支援を行っていることは評価できる。
		畿央大学	平成26(2014)年度入学生から全員にタブレット型コンピュータを貸与し、それを活用したアクティブ・ラーニングを実施して教育効果を上げている点は高く評価できる。
		健康科学大学	「出欠管理システム」の構築、クラス担任制度、「学生サポートセンター」の設置など、総合的な学生サポート体制の強化により、退学率、留年率が減少しており評価できる。
		東北女子大学	「東北女子大学教職員協働による学生支援規則」「助言教員制」「協力教員」を定め、全教職員が協働して学生の学修支援に当たっていることは、中途退学者が極めて少なく、免許・資格取得を生かした高い就職率につながる成果であり、高く評価できる。
		名古屋造形大学	欠席回数が3回を超えた学生に対し、コースの教職員から学生に注意喚起を促すシステムが確立され、平成26(2014)年度より「授業欠席が続く学生へのガイドライン」が制定され、効果を上げていることは高く評価できる。
		山梨学院大学	カレッジ・アスリートや外国人留学生への学修支援において、学生の特性に応じたきめ細い支援体制が構築されている点は評価できる。
		山梨学院大学	「学習・教育開発センター」におけるメンター制度について、「学生が学生を支援する」という「ピア・サポート」に基づき学生による自律的・自発的な支援体制が充実している点は評価できる。
		2-4. 単位認定、卒業・修了認定等	愛知工科大学
	2-5. キャリアガイダンス	愛知東邦大学	3年次後期に「就職合宿」やインターンシップを実施し、参加者に報告書等でアウトプットさせることにより、キャリア教育の支援体制を充実させている点は評価できる。
		大阪経済法科大学	海外インターンシップでは、ドイツ、イタリアからの輸入事業を手掛ける企業に学生を同行させたり、ベトナムに進出した日系企業へ学生を派遣している点は評価できる。
		名古屋学芸大学	学部・学科が連携した相談・助言体制、駅前で就職相談ができる「就活サテライトラウンジ名駅」や「遠隔地就職活動交通費支援制度」による新幹線代等交通費補助などキャリア支援体制が充実していることは評価できる。
		日本文化大学	就職率が高く、特に警察官試験に対し高い合格率を継続的に達成していることは、評価できる。
	2-6. 教育目的の達成状況の評価とフィードバック	山梨学院大学	「学習・教育開発センター」が「日本の大学生の学習経験調査」の調査に参画するなど、先進的な取り組みがなされている点は評価できる。
	2-7. 学生サービス	朝日大学	大学独自の経済的支援として、「朝日大学奨学融資制度」、給付型奨学金「朝日大学学業奨励奨学金」など多種多様な奨学金制度を設けており、特に、給付型奨学金を充実させ学生への経済的支援を実施している点は評価できる。
		京都外国語大学	専門的知識を有したスタッフが配置された保健室、人権教育啓発室、学生相談室が、十分な開室時間を確保し、きめ細かな学生サービスを心掛けている点は評価できる。
		松蔭大学	学生相談室員が学生生活になじめない学生を対象に昼食を摂りながら相談に対応する「集食ウィーク」の取り組みは、高く評価できる。
		日本薬科大学	新入生を含め、学生に禁煙誓約書を提出させ、学内完全禁煙を推進している点は評価できる。
	2-8. 教員の配置・職能開発等	愛国学園大学	授業公開によるFD活動に積極的に取り組んでおり、公開だけでなく、交替制で全員参加の講評員を置いて講評会を行っていることは評価できる。
		畿央大学	「研究授業」の参観後に開催する「授業研究会」にて意見交換を行い、「研究授業」に参加できなかった教員に対しては録画を視聴させるなど、教員の授業スキルの向上に効果を上げている点は高く評価できる。
		桐朋学園大学	FD活動は、各部会(ピアノ、弦楽器等)で実施する国外の音楽家による「特別レッスン(公開授業)」や部会を超えて実施するファカルティ・コンサートなど音楽大学の特性を生かした非常に活発かつ多彩な内容で実施されている点は高く評価できる。
		日本薬科大学	薬学科において、非臨床系教員にも医療機関での研修の機会を設けていることは評価できる。
	2-9. 教育環境の整備	朝日大学	図書館にラーニングコモンズエリアを設置しているほか、会計研究会の部室に専従の公認会計士を配置するなど、学修環境を整備している点は評価できる。
		大阪芸術大学	芸術分野に関連する博物館、撮影所、映画館などの施設や音楽関係設備、放送関係設備、ガラス工芸設備などを十分に整備・活用し各芸術分野の教育を行っている点は高く評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準2. 学修と教授	2-9. 教育環境の整備	鹿児島純心女子大学	教育理念と関連した「鹿児島純心女子大学附属博物館」において、郷土玩具に関する資料等の展示を学生が企画し、展示作業を行っており、授業にも役立っている点は評価できる。
		京都外国語大学	教員の教育・研究のための「教材作成室」が効果的に機能し、授業内容の充実が図られている点は評価できる。
		滋慶医療科学大学院大学	学生自習室には大学院生全員の机とロッカーを用意しており、自主学習の環境が十分に整えられている点は評価できる。
		東京家政学院大学	「生活文化博物館」「大江文庫」など、家政学の大学として発展してきた歴史ある貴重な資料を保存した施設を社会連携などで有効に活用し、学生の教育や研究にも役立っていることは高く評価できる。
		東京純心大学	図書館は、クリスマス絵本を含む多数の児童文学書を収蔵し、こども文化学研究の基盤となっており、高く評価できる。
		常磐会学園大学	学生の要望や教育目的に沿って、新たに「乳幼児家庭実習室」「幼児教育保育実践室」「小学校模擬教室」「アクティブ・ラーニング室」などの実践的な実習室を整備し、計画的に快適な教育研究環境を整備している点は、評価できる。
		日本映画大学	映画大学としての使命・目的を果たすべく、今村昌平記念スタジオなど映画制作に必要な充実した施設及び設備を有している点は高く評価できる。
		日本薬科大学	さいたまキャンパス内にある漢方資料館には、大学の特色の一つである漢方薬学を学ぶ上で貴重な資料が多数展示されており、学外からも多くの見学者が訪れていることは高く評価できる。
		兵庫大学	「看護・介護研修センター」は、訪問看護、訪問介護に係る体験学習等の機会を提供し、従事者等の在宅ケアスキルの向上と新たなスキルの開発支援を行っていることは、大学の使命・目的を具現化する上で重要な役割を担っており、高く評価できる。
		安田女子大学	入学時に、全入学生に無償でノートパソコンを供与していることは評価できる。
基準3. 経営・管理と財務	3-1. 経営の規律と誠実性	郡山女子大学	再生可能エネルギーの導入など環境問題に積極的に取り組んでおり、「エコ大学ランキング」で上位にランクされるなど、外部の専門機関から高い評価を得ていることは評価できる。
		杉野服飾大学	「大地震対応マニュアル」を、学生・教職員に配付し、災害対策用の貯蔵品も備えており評価できる。
		鈴鹿大学	建学の精神を実現するため、勤務者全てが倫理観を持って業務を遂行することを求める「学校法人享栄学園職員倫理要綱」を定め、ホームページでも公開するなど、誠実な運営に心掛けている点は高く評価できる。
		桐朋学園大学	「学校法人桐朋学園のエネルギーの使用の合理化等に関する取り組み方針」を定め、理事長を法人全体のエネルギー管理統括者として省エネルギー化の推進とCO ₂ 排出量の削減に向け取り組んでいることは高く評価できる。
		豊橋創造大学	防災に関する多様な規則が設けられ、教職員へ防災備品の配付を行い、災害用備蓄倉庫には、毛布、保存食、発電機、仮設トイレ等を確保した上、本格的な防災訓練を実施する等、一連の防災に関する対応について評価できる。
		長岡大学	大学の使命実現のため、平成18(2006)年以降、文部科学省の地域活性化関連補助事業に「長岡地域＜創造人材＞養成プログラム」などが長年にわたり継続的に採択されていることは評価できる。
	3-2. 理事会の機能	旭川大学	評議員である学部長をオブザーバーとして理事会・常任理事会に出席させていることは、教学面の情報を共有し、迅速かつ戦略的意思決定において有効であり、高く評価できる。
	3-3. 大学の意思決定の仕組み及び学長のリーダーシップ	東北文教大学	若手教員の一人ひとりの意欲と能力を引出すために、任期1年間の学長補佐を担当させる制度を定め、人材育成の仕組みを工夫している点は評価できる。
	3-4. コミュニケーションとガバナンス	大阪工業大学	監事監査を「学園広報」「学生支援」等の時宜を得たテーマで毎年実施し、「監事報告書」に的確にまとめ、理事会に提言するとともに、過去の業務監査のテーマについて「フォローアップ監査」を行うなど、監事によるガバナンス機能が十分に発揮されており高く評価できる。
		京都外国語大学	「アイデアオリンピック」は、教職員からの情報や提案が生かされる仕組みとして、また、学生から意見をくみ上げるシステムとしても機能しており、評価できる。
		摂南大学	監事監査は、経営面及び教学面の業務監査を実施し、社会貢献を果たすべく毎年テーマを決めて、計画的・組織的に実施し、ほぼ全部署から業務監査でヒアリングを行っていることは高く評価できる。
	3-5. 業務執行体制の機能性	愛知東邦大学	他大学との連携SD活動、特別予算が付与される「自己主導型研修」など、職員の資質・能力の向上に積極的に取り組んでおり、評価できる。
		郡山女子大学	永年継続開催している「学園教育充実研究会」(大会)には全教職員が参加し、グループディスカッションなどを通じて大学の教育機能・環境の向上に組織的に取り組んでおり、教職協働の一つのあり方として、評価できる。
3-6. 財務基盤と収支	大阪工業大学	法人が大学への運営資金配分比率を毎年度見直しするなど、きめ細かい予算編成を行い、中期計画を踏まえた弾力的な財務運営への取り組みで安定した財務基盤を構築していることは評価できる。	
基準4. 自己点検・評価	4-1. 自己点検・評価の適切性	郡山女子大学	全学共通の進捗管理ツール「PDCA表」を活用することにより、年度計画から年度末の報告会までの一連の点検評価作業をルーティン業務に落とし込み、実施している点は評価できる。
		埼玉学園大学	「自己点検評価チェックシート」により、点検事項を整理し、大学全体で毎年度評価を行っていることは評価できる。

2. 短期大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準2. 学修と教授	2-5. キャリアガイダンス	中村学園大学短期大学部	社会的・職業的自立等を指導するためにマナー委員会を設置し、委員会が作成した「学園マナーブック」が学生の就職面談などに大きく役立っていることは評価できる。
		中村学園大学短期大学部	学生向け「就職ノート」、保護者向け「就活応援ガイドブック」、企業向け「求人のための学校案内」等を作成するとともに、遠方で就職活動をする学生のための旅費支援制度を拡充している点は評価できる。
	2-7. 学生サービス	中村学園大学短期大学部	学生が学内で働ける「スチューデントジョブ制度」を設けることにより、経済的な支援を図るだけでなく、就業体験の充実、学内リーダーの育成、学科を越えた学生交流を図ろうとしている点は、高く評価できる。
基準3. 経営・管理と財務	3-4. コミュニケーションとガバナンス	中村学園大学短期大学部	理事長・学長から所信が述べられる教職員朝礼や、教職員管理職全員が参加し、意見交換・交流する一泊二日の管理職研修会の取組みについては高く評価できる。
	3-6. 財務基盤と収支	中村学園大学短期大学部	外部資金の獲得において、私立大学等改革総合支援事業へ積極的に取り組み、平成27(2015)年度に三つのタイプの選定を受けている点は高く評価できる。